



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月11日

上場会社名 株式会社エーアイティー 上場取引所 東
コード番号 9381 URL https://www.ait-jp.com/
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)矢倉 英一
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理財務部長 (氏名)内田 利明 (TEL) 06(6260)3450
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	39,499	△29.1	3,566	△22.0	3,738	△21.9	2,476	△24.2
2023年2月期第3四半期	55,689	25.8	4,569	54.5	4,788	51.8	3,265	63.8

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 3,010百万円(△25.0%) 2023年2月期第3四半期 4,013百万円(74.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	105.42	—
2023年2月期第3四半期	139.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	26,121	17,454	65.6
2023年2月期	24,888	16,602	65.6

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 17,129百万円 2023年2月期 16,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2024年2月期	—	40.00	—		
2024年2月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	50,600	△27.2	4,050	△23.4	4,250	△24.2	2,820	△23.5	120.03	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期3Q	23,913,600株	2023年2月期	23,913,600株
2024年2月期3Q	420,008株	2023年2月期	420,008株
2024年2月期3Q	23,493,592株	2023年2月期3Q	23,493,599株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、社会経済活動の正常化が進み、個人消費の持ち直しやインバウンド需要についても回復の動きが見られました。しかしながら、世界情勢が不安定な中、円安進行や原材料価格の高騰などによる物価上昇の影響で、消費者の節約志向が高まっている面もあり、依然として経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としては、コロナ禍において高騰した海上運賃が需給バランスの正常化に伴い、前年同期比で下落しており、当社グループで最も貨物の取扱量が多い中国航路も海上運賃の下落が続く状況となりました。

このような中、当社グループは、主力である国際貨物輸送に加え、通関や配送、検品・検針・加工業務といった輸出入の付帯業務の受注増加に向けて、精力的に営業活動を展開してまいりました。さらには、デジタル戦略も強く推進し、昨年6月に貨物検索サービスを刷新、同年11月には機能拡充するなどして、顧客の貿易業務の利便性向上と競争力強化を図るための取り組みを行ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間では、アパレル関連製品の取扱いは、外出機会が増したことで9月下旬ごろまで復調の動きが見られましたが、10月、11月では冬物商材を中心に荷動きが鈍化することとなりました。また、コロナ禍での巣ごもり需要により、輸入量が増加した雑貨関連や家具等の消費財は、需要の一巡や輸入者の在庫調整、物価高による消費者の買い控え等により輸入量が減少しており、国際貨物の取扱量は低調な推移となりました。さらには、海上輸送の運賃下落の影響も重なり、営業収益は減少する結果となりました。しかしながら、運賃水準の下落等で営業原価が抑制されたことで売上総利益率は改善し、コストの見直しや削減、抑制も継続して行ないながら、可能な限りの利益創出に努めてまいりました。また、それに加えて、前連結会計年度で実施した中国での一部の事業所閉鎖により、事業所の運営コストが低減できました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は39,499百万円（前年同期比29.1%減）、営業利益は3,566百万円（前年同期比22.0%減）、経常利益は3,738百万円（前年同期比21.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,476百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

① 日本

当第3四半期連結累計期間では、前年同期と比較し、海上輸送の運賃下落が進む中で輸入者の重荷となっていた物流コストは低減してきております。この状況下、当社グループは、新規顧客の獲得に注力するとともに既存顧客の取引拡大を図るため、営業活動に鋭意取り組んでおります。しかしながら、前年同期よりも円安の環境下において、商品の在庫調整やコロナ需要の一巡、さらには物価上昇等の影響もあり、輸入貨物の荷動きが弱い状況で推移しました。

その結果、海上輸送の取扱コンテナ本数は、輸入で176,131TEU（前年同期比8.0%減）、輸出入合計では186,883TEU（前年同期比8.3%減）と前年同期を下回りました。また、通関受注件数も貨物の取扱量が減少したことで、104,211件（前年同期比2.6%減）と前年同期を下回る結果となりました。

以上のことから、日本における営業収益は、運賃水準の下落と取扱高の減少の影響で33,935百万円（前年同期比30.3%減）と前年同期を下回りました。セグメント利益は、売上総利益率の改善効果とDXの推進等により人件費や事業活動における費用の抑制に努めたことで2,969百万円（前年同期比25.1%減）となり、営業収益よりも減少率は縮小しました。

② 中国

日本向け貨物の取扱量が減少したことで、中国国内での輸送関連の収益機会も減ることとなり、その結果、中国における営業収益は4,723百万円（前年同期比18.4%減）となりました。一方で、売上総利益率の改善と収益性向上に向けての取り組みが奏功し、セグメント利益は465百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

③ その他

ミャンマーの子会社での検品・検針における収益、国内物流の収益が回復傾向にある一方で、台湾及びベトナムの子会社では、日本向け貨物の取扱量が減少し、その結果、営業収益は840百万円（前年同期比31.7%減）となり、セグメント利益は131百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

(注) TEU (Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算) とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,232百万円増加し26,121百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,065百万円増加し22,114百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が784百万円、立替金が251百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ167百万円増加し4,007百万円となりました。これは主に、有形固定資産が195百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ380百万円増加し8,666百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し6,674百万円となりました。これは主に、買掛金が313百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ301百万円増加し1,992百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が69百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ852百万円増加し17,454百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,476百万円を計上した一方で、剰余金の配当により2,114百万円が減少したことによるものであります。また、為替換算調整勘定が429百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年4月13日に公表しました予想値を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「連結業績予想の修正及び個別業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,374	15,408
受取手形及び売掛金	4,159	4,944
立替金	1,263	1,514
その他	284	286
貸倒引当金	△33	△40
流動資産合計	21,048	22,114
固定資産		
有形固定資産	606	801
無形固定資産		
のれん	652	571
顧客関連資産	1,579	1,381
その他	174	183
無形固定資産合計	2,406	2,136
投資その他の資産		
投資有価証券	551	589
その他	307	510
貸倒引当金	△31	△30
投資その他の資産合計	826	1,068
固定資産合計	3,840	4,007
資産合計	24,888	26,121
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,679	2,992
1年内返済予定の長期借入金	1,700	1,700
未払法人税等	1,051	565
賞与引当金	442	337
役員賞与引当金	37	31
その他	684	1,046
流動負債合計	6,594	6,674
固定負債		
繰延税金負債	422	409
退職給付に係る負債	681	750
役員退職慰労引当金	182	206
資産除去債務	226	229
その他	178	396
固定負債合計	1,691	1,992
負債合計	8,286	8,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271	500
資本剰余金	5,274	5,045
利益剰余金	10,323	10,685
自己株式	△392	△392
株主資本合計	15,476	15,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	32
為替換算調整勘定	832	1,262
退職給付に係る調整累計額	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	842	1,291
非支配株主持分	283	325
純資産合計	16,602	17,454
負債純資産合計	24,888	26,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
営業収益		
輸送事業収入	55,689	39,499
営業収益合計	55,689	39,499
営業原価		
輸送事業仕入	46,610	31,541
営業原価合計	46,610	31,541
売上総利益	9,078	7,957
販売費及び一般管理費	4,509	4,391
営業利益	4,569	3,566
営業外収益		
受取利息	17	21
受取配当金	4	4
持分法による投資利益	151	156
為替差益	22	-
その他	33	42
営業外収益合計	229	224
営業外費用		
支払利息	11	11
為替差損	-	40
その他	0	0
営業外費用合計	11	52
経常利益	4,788	3,738
特別利益		
固定資産売却益	34	2
その他	7	-
特別利益合計	41	2
特別損失		
固定資産売却損	-	19
固定資産除却損	23	1
事業構造改革費用	22	-
特別損失合計	46	20
税金等調整前四半期純利益	4,783	3,720
法人税、住民税及び事業税	1,467	1,330
法人税等調整額	△35	△140
法人税等合計	1,431	1,190
四半期純利益	3,352	2,530
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,265	2,476

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	3,352	2,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	18
為替換算調整勘定	588	417
持分法適用会社に対する持分相当額	68	44
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	661	480
四半期包括利益	4,013	3,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,899	2,925
非支配株主に係る四半期包括利益	114	85

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
顧客との契約から 生じる収益	48,579	5,787	54,367	1,231	55,598	—	55,598
その他の収益	91	—	91	—	91	—	91
(1) 外部顧客に対する 営業収益	48,670	5,787	54,458	1,231	55,689	—	55,689
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	85	4,564	4,650	538	5,188	△5,188	—
計	48,756	10,352	59,109	1,769	60,878	△5,188	55,689
セグメント利益	3,963	433	4,397	172	4,569	—	4,569

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
顧客との契約から 生じる収益	33,843	4,723	38,567	840	39,408	—	39,408
その他の収益	91	—	91	—	91	—	91
(1) 外部顧客に対する 営業収益	33,935	4,723	38,658	840	39,499	—	39,499
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	81	3,389	3,470	351	3,821	△3,821	—
計	34,016	8,113	42,129	1,191	43,321	△3,821	39,499
セグメント利益	2,969	465	3,435	131	3,566	—	3,566

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。